

No.99

# 会 報

2002 (平成 14) 年 6 月 15 日 Shizuoka Consulting Engineers Association 静岡県技術士協会  
事務局 〒416-0952 建設コンサルタントセンター内 (TEL0545-64-6665 FAX0545-64-3690)  
会 長 : 守屋 文二 専務理事 : 吉澤 淳  
編集担当者 : 森 稔夫 山之上 誠 高尾和宏  
振込口座 : 静岡銀行清水中央支店普通 0718595 静岡県技術士協会会計藤田協右 (0543-64-1148)

〔2002 年度・会長挨拶〕



静岡県技術士協会会長 守屋 文二

この度、大役をお引受することになりました守屋でございます。

松本前会長は積極的に会の拡充とか経営にご努力下さいましたことをこの席をお借り致しまして感謝申し上げる次第です。

微力ではございますが、諸先輩が残された足跡を汚さないよう心掛けていくとともに、会の運営にあたりましては会員の皆様方のメリットに結び付くような活動を心がけていきたいと思っております。

幸い強力な執行スタッフがバックアップして下さることになりましたので、この点は非常に心強く思っております。

どうか皆様方のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。私の就任の挨拶とさせていただきます。

よろしくお願い致します。

# 2002 年度定時総会開催

2002 年 4 月 20 日 (土) 於:クーポール会館 (静岡市)  
総会成立が確認され、以下の議案が審議、承認されました。

## 総会議案書 [抄]

### 第 1 号議案 2001 年度事業報告

#### 1 会員の状況

##### (1) 会員数

2002 年 3 月末現在 192  
(個人会員 171 名、賛助会員 21 社)  
年度内入会者 9 名、年度内退会者 13 名  
(13 名、0 社)

2001 年 3 月末現在 196  
(個人会員 175 名、賛助会員 21 社)

##### (2) 入会者: 9 名

金 成秀 三枝 久芳 伊達 潔  
房本 章 森本 敏明 山田 勇  
井上 博正 馬淵 好弘 安田 宗則

##### (3) 退会者: 13 名

浅野 龍雄 中川 滉 二俣 数夫  
高橋 俊郎 児玉 史章 鈴木 敏博  
鈴木 悦朗 門田 光央 岡田 実  
土橋 弘 山田 勇 (物故)  
鶴田 三男 (物故) 山崎 正 (物故)

##### (4) 休会者: 6 名

伊藤 光雄 大古田忠男 大沼 俊一  
加納 照彦 本川 英祐 山本 秀洋

#### 2 総 会

日 時 2001 年 4 月 20 日 (金) 14:30~  
会 場 静岡市クーポール会館  
議 案 第 1 号議案 2000 年度事業報告  
第 2 号議案 2000 年度決算報告  
第 3 号議案 名誉会員推戴の件  
第 4 号議案 規約改正の件  
第 5 号議案 2001 年度事業計画案  
第 6 号議案 2001 年度収支予算案  
第 7 号議案 その他  
出席者 49 名 (委任状 71 名)  
記念講演 会員による講演  
『開発途上国における国際協力  
(ODA) について』  
井上 博正会員 (建設部門)

#### 3 例 会

##### (1) 2001 年度第 1 回例会

日 時 2001 年 7 月 19 日 (木) 14:00~  
参加人数 22 名  
内 容 東レ株式会社三島工場見学会

##### (2) 2001 年度第 2 回例会

日 時 2001 年 11 月 7 日 (水) 15:00~  
参加人数 31 名  
内 容 静岡県駿河湾深層水取水施設見学

##### (3) 2001 年度第 3 回例会

日 時 2001 年 12 月 8 日 (水) 14:00~  
参加人数 38 名  
内 容 会員講師による講演  
岡野政彦会員 (電気・電子)  
高田充温会員 (建設)

##### (4) 2001 年度第 4 回例会

(以下のセミナーと併催)

日本技術士会主催平成 13 年度産官学セミナー

日 時 2002 年 3 月 1 日 (金) 13:00~  
参加人数 56 名

(内中部支部より 11 名参加)

内 容 「新しい食品技術の技術移転」に関するセミナー

#### 4 常任理事会

##### (1) 第 1 回常任理事会

日 時 2001 年 5 月 19 日 (土) 13:30~  
会 場 浜松市 サンピア浜松  
議 題 会報の内容について  
分科会活動の位置付けとテーマについて

第 1 回例会について

会員名簿その他

##### (2) 第 2 回常任理事会

日 時 2001 年 7 月 19 日 (木) 11:30~  
会 場 三島駅レストラン  
議 題 静技協改組について  
第 2 回例会について  
その他

##### (3) 第 3 回常任理事会

日 時 2001 年 9 月 1 日 (木) 11:30~  
会 場 浜松市 サンピア浜松  
議 題 静技協改組について  
会報の内容について  
第 3 回例会について

##### (4) 臨時常任理事会

日 時 2001 年 11 月 11 日 (土) 11:30~  
会 場 浜松市 サンピア浜松  
議 題 産官学セミナーの開催方法  
中部支部と静技協との関係について

##### (5) 第 4 回常任理事会

日 時 2002 年 3 月 9 日 (土) 11:30~  
会 場 浜松市 サンピア浜松  
議 題 産官学セミナー結果報告  
2002 年度定時総会準備について  
2002 年度役員候補について  
その他

#### 5 理事・役員会

##### (1) 臨時 理事・役員会

日 時 2001 年 6 月 30 日 (土) 13:00~  
会 場 静岡駅ビル 7F 会議室  
議 題 日本技術士会からの当協会改組要求案についての討議

##### (2) 第 1 回理事・役員会

日 時 2001 年 12 月 8 日 (土) 12:00~  
会 場 静岡市 クーポール会館  
議 題 当協会改組要求案に対する対応討議  
中部支部からの産官学セミナー開催要請について

- (3) 第2回理事・役員会  
 日時 2002年4月13日(土)12:00~  
 会場 静岡市 プケ東海  
 議題 2002年度定時総会議案の審議  
 その他

## 6 地区ブロック会合

### 東部地区

- 日時 2002年1月18日  
 会場 沼津市 沼津軒  
 参加者 14名  
 議題 定例会の計画とあり方の検討  
 次年度定例会について  
 東部地区理事役員の改選  
 その他

### 中部地区

- (1) 日時 2001年7月6日  
 会場 静岡市 味楽天  
 参加者 13名  
 議題 10月定例会の打合せ  
 次期役員候補他
- (2) 日時 2002年2月8日  
 会場 静岡市 味楽天  
 参加者 15名  
 議題 次期役員候補他

## 7 部会活動

### 第3回協会内研究会 [安全衛生]

- 日時 2001年6月30日(土)9:30~  
 会場 静岡市 静岡労政会館  
 講師 望月 圭祐会員  
 参会者 13名

## 8 会報の発行

- 第95号 2001年6月15日  
 第96号 2001年9月15日  
 第97号 2001年12月15日  
 第98号 2002年3月15日  
 第2号議案

## 9 事業

- (1) 調査・研究・監査・指導等の業務委託  
 舞阪町体育館建設に関する監査委託業務  
 受託、伊藤和美会員に委託  
 平成14年度も継続

- (2) 地方公共団体や協会等への当協会への認識  
 度向上活動

- (財)しずおか産業創造機構への協力  
 講師紹介  
 技術普及講習会：清水康夫会員  
 中小企業技術者研修事業「異物対策」：  
 平尾素一会員

### 委員参加

- 専門家派遣事業評価委員会：神立理事  
 研究開発助成の技術評価委員会：神立理事、  
 松尾理事、金子四郎会員、吉永勝也会員

### (3) 物故者への感謝状贈呈

- 当協会に貢献された物故者への感謝状贈呈を  
 おこなった

松本会長名：鶴田 三男会員

### (4) 総会

- 2001年4月20日(金)  
 静岡市 クーポール会館

### (5) 2001年度版会員名簿発行

## 10 会員の受賞

- 加藤幸男会員が長年の保護司活動に対し法務大臣賞を受賞

## 11 日本技術士会中部支部との協力

- 幹事会：5月13日、7月17日、8月11日、  
 9月8日、11月3日、12月9日、  
 2月3日、3月23日(8回)  
 松本会長、守屋副会長 交代出席
- 中部役員会：4月7日、6月2日、  
 7月17日、8月11日、9月8日、  
 10月13日、11月3日、3月1日(8回)  
 松本会長、守屋副会長出席
- 平成13年度技術士試験合格者説明会および祝  
 賀会：4月6日  
 松本会長、守屋副会長 出席  
 県技術士協会の紹介と入会勧誘  
 その他：「技術士中部」への投稿、行事の活  
 動状況を逐次報告(神立理事)

## 第2号議案 2001年決算報告

### (1) 一般会計の部

(単位：円)

科目	収入		支出	
	予算	決算	予算	決算
前年度繰越	121,976	121,976		
賛助会費	210,000	210,000		
日本技術士会助成金	100,000	365,000		
入会金	10,000	15,000		
年会費	1,256,000	1,272,000		
会合費(総会)	280,000	259,000	450,000	363,794
会合費(例会)	644,000	464,000	700,000	550,628
会合費(理事役員会)	150,000	236,398		
事業費	200,000	210,000	200,000	210,000

事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			202,160	340,000
印刷費			80,000	20,580
通信費			40,000	25,480
各種活動助成費			130,000	59,125
雑収入/雑費	20,000	20,071	240,000	237,163
40周年記念事業基金繰入			100,000	100,000
会員名簿積立金/作成発送	0	100,000	230,000	323,040
産官学・技術士会セミナー	0	226,000	0	481,594
予備金及び次年度繰越			61,976	333,085
計	2,841,976	3,263,047	2,841,976	3,263,047

(2) 基金特別会計の部 (単位:円)

項目	科目	予算	決算
基金の部	前年度繰越	2,000,000	2,000,000
	本年度増減	0	0
	合計	2,000,000	2,000,000
利息の部	前年度繰越	959	959
	本年度収入	0	5,000
	残高	959	5,959

(3) 40周年記念事業基金会計の部 (単位:円)

科目	収入		支出	
	予算	決算	予算	決算
前年度繰越	500,566	500,566	0	0
一般会計からの繰入	100,000	100,000	0	0
利息	0	87	0	0
合計	600,566	600,653	0	0

(4) 会員名簿作成積立金の部 (単位:円)

科目	収入		支出	
	予算	決算	予算	決算
前年度繰越	100,000	100,000	0	0
本年度の積立/支出	0		100,000	100,000
合計	100,000	100,000	100,000	100,000

会計監事

小川誠慈

森 稔夫

第3号議案 名誉会員推戴の件

以下の3名の会員を規約第6条の規定により、名誉会員として推戴する件について、承認を得たい(技術士部門順)

平山 傳治(機械部門 1926年8月6日生)  
 構山 淳(建設部門 1927年2月15日生)  
 吉田 章(建設部門 1926年9月8日生)  
 名誉会員(技術士部門順)(17名)  
 乾 昇(機械) 加藤幸男(機械) 高塚明経(電気・電子)  
 鷲山秀彦(電気・電子) 金沢 徹(化学) 金子信一(化学)  
 磯辺俊夫(金属) 芹沢五一(建設) 久米松太郎(建設)  
 高野克己(建設) 山田康一(建設) 絹村 薫(水道)  
 蓮池 昇(水道) 松原繁左右(農業) 伊藤寿洋(経営工学)  
 高柳 剛(経営工学) 竹花 健(経営工学)

[西部]

顧問

佐藤 仁一 柳澤 敏行  
 伊藤 寿洋 梅原弘二郎  
 斎藤 和夫 長嶋 滋孔  
 藤原 正臣 望月 圭祐  
 松影 泰三 中田 洋輔  
 乾 昇 伊藤 和美  
 加藤 幸男 金澤 徹  
 清水 康夫 竹花 健  
 吉永 勝也 渡邊佐一郎  
 渡邊 三義

第5号議案 2002年度事業計画案

2002年度事業は従来の活動を基本としながら、継続教育に結び付く内容を加味して、時代変化に対応した充実したものとする。併せて地域社会への貢献を増加させていくこととする

1 静岡県技術士協会の拡充と認識度の高揚

(1) 平成13年度試験合格者および県下の未加入者を勧誘して会員増加をはかる

(2) 地方公共団体、地域の各種団体等へ会報などを配布して、PRを継続しておこなう

(3) 外部団体からの相談・調査・指導等の依頼への対応を通じて、当協会の認識度の高揚をはかる

2 事業の実施

(1) 総会の開催

日時 2002年4月20日(土) 14:30~

静岡市 クーポール会館

2001年度事業報告および2002年度事業計画案、その他

記念講演

元県立大学長 星 猛 先生

第4号議案 役員改選の件

次期2002・2003年度役員を次の通り推薦し、承認を求める(順不同 敬称略)

会長 守屋 文二

副会長 木村 芳正 神立 信

専務理事 吉澤 淳

常任理事(会計担当) 藤田 協右

常任理事(会報担当) 森 稔夫

山之上 誠 高尾 和宏

監事 小川 誠慈 松尾 博孝

理事 安間 莊 漆畑 八三

[東部] 久保嶋勝己 櫻 賢三

山本 正男 稲葉 弘之

北本 達治 齋 強志

[中部] 石川 正人 海野 泰一

金澤 啓吾 片平 雅之

- (2) 例会の開催  
 7月 東部 (東部担当)  
 10月 中部 (中部担当)  
 12月 静岡 (研修会・忘年会)  
 3月 西部 (西部担当)  
 会員の資質を向上させ、相互啓発をはかる  
 見学会、研修会などの選択は担当地区に一任する
- (3) 地区ブロック会合の開催
- (4) 外部団体からの業務委託や技術的相談に対応する
- (5) 部門別あるいはテーマ別の研究活動を活発化する
- (6) 日本技術士会中部支部との連携を密にする
- (7) 会員のFAX、Email 網を整備し、連絡の迅速化をはかる
- (8) 新入会員の名簿の追加発刊をおこなう
- 3 役員会  
 常任理事会、理事・役員会、地区役員会を随時開催する
- 4 会報の発行  
 年4回(6月、9月、12月、3月)  
 会員への行事報告や予告、会員の消息、連絡事項などを掲載する。また、会員から技術情報等の原稿を募り、会員相互の知識の啓蒙もはかる
- 5 その他

## 第6号議案 2002年度収支予算案

### (1) 一般会計の部 (単位：円)

科目	収入		支出	
	前年度決算	予算	前年度決算	予算
前年度繰越	121,976	333,085		
賛助会費	210,000	210,000		
日本技術士会助成金	365,000	100,000		
入会金	15,000	10,000		
年会費	1,272,000	1,252,000		
会合費(総会)	259,000	280,000	363,794	500,000
会合費(例会)	464,000	685,000	550,628	700,000
会合費(理事役員会)			236,398	250,000
事業費	210,000	200,000	210,000	200,000
事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			202,160	340,000
印刷費			20,580	100,000
通信費			25,480	40,000
各種活動助成費			59,125	150,000
雑収入/雑費	20,071	20,000	237,163	360,000
40周年記念事業基金繰入			100,000	100,000
会員名簿積立金/作成配送	100,000	0	323,040	50,000
産官学・技術士会セミナー	226,000	0	481,594	0
次年度繰越及び予備金			333,085	180,085
計	3,263,047	3,090,085	3,263,047	3,090,085

### (2) 基金特別会計の部 (単位：円)

項目	科目	前年度	予算
		決算	
基金の部	前年度繰越	2,000,000	2,000,000
	本年度増減	0	0
	合計	2,000,000	2,000,000
利息の部	収入	959	5,959
	一般会計へ繰入	5,000	0
	残高	5,959	5,959

### (3) 40周年記念事業基金会計の部 (単位：円)

科目	収入		支出	
	前年度決算	予算	前年度決算	予算
前年度繰越	500,566	600,653	0	0
一般会計からの繰入	100,000	100,000	0	0
利息	87	0	0	0
合計	600,653	700,653	0	0

## 第7号議案 その他

## 記念講演(抄)

### 『高齢化社会の到来と新しい技術文化への期待』



#### 元県立大学長 医学博士 星 猛 先生

この度は静岡県技術士協会総会、技術者の集団と認識しておりますが、お招ねき頂いて講演できることを光栄に存じます。

昨年総会にお招ねき頂きながら「脳梗塞」で入院を余儀なくされました。幸い、ひどい障害もなく少しのリハビリで回復し、今年は引き受けることができました。その折りはご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

私は現在、「静岡県健康長寿財団」、「高齢者の問題」を扱っている団体で高齢者の如何に健康を維持するか、如何に素晴らしい人生を送れるようになるか等を、調査、研究、その他事業もやっています。

わが国はこれから老人が人口の大部分を占めるようになってきます。社会文化は老人の社会文化に相当するようになりますが、これを如何にして築いていけば良いか、大きな課題を背負っており暗中模索中ですが、多様な考えを駆使して取組んでおります。

わが国は世界一の長寿国であり、外国からも着目されています。外国からお客が来たときに、「これが日本の高齢者文化である」というものを造っていかねばなりません。「老人クラブ」を外国人にみせても外国人は感激しない。また、若い人にもソッポを向かれています。あのようなものは駄目で、外国人にも尊敬されるような新しい社会文化を造っていかねばならないという大きな命題をかかえております。

社会文化であるので、色々な面があります。

その1つは「技術文化」によらねばならないことです。自動車が発達して車社会となり社会文化を変えました。TV、電話、電子機器等が生活様式を大きく変えてきました。そういう観点からも技術に頼らざるを得ないということです。

産業創造機構の特別顧問も兼ねていますが、高齢化問題と技術文化を如何にドッキングさせるか、暗

中模索、検討中であり、皆様のお世話になる点もあるかと思いますが宜しくお願い申し上げます。

さて、昨日、静岡の「科学者サロン」、知事、大学の長などで構成された組織ですが、今回のテーマは「中国の産業パワーを如何に考えるか」でした。これを「脅威」と考えるか、また、「否」と考えるかであります。

中国の産業は急速に発展しています。GNPも7%以上で生活様式も変わってきて、考え方も変わってきています。

論点の1つは「技術移転の問題」です。日本から相当技術移転されていますが、日本のみではなく世界各国からも技術移転されています。

中国の発展に併せ、わが国も「共存共栄」を図らなければなりません。日本の特徴を挙げれば産業発展を「匠の精神」が支えてきました。自動車、オートバイ、カメラ、AV機器等、世界の識者が皆認めているところです。

現在は中国の低賃金を利用した「部品社会」となっていますが、共存共栄を図るためには昔の「匠の技術」をもって新しい製品、他国では作れない物を造り出すことが最も重要なポイントです。

もう1つは「中国の人口が大きい」ことです。化学の大原則に「マサーチューの法則」というのがあります。「マスは強いエネルギーを持つ」というものです。大人口の中から「天才」も多く生まれてきて、どのような文化を創成するかという点に着目する必要があります。

日本も時代に適応した「新しい技術文化」を造っていくことが大きな課題ですが、これには教育が大切で有ります。現代の大学教育が危機に直面しています。大学だけでなく高校で2次方程式の解だけ覚えて大学に合格してくる。「何に利用されているか、何に役立っているか」を質問しても誰も答えられない。

それでは「独創性」は生まれてこない。応用力を如何に育てて行くかが今後の重要な課題であります。

日本では「教育の哲学」が不十分であったことを反省しています。どういう哲学かといいますと、知識を勉強・習得し、これを応用させることに力を入れます。

アメリカでは「知識は力也」と教育しています。「技術は力也」です。J・デューイは「役に立つ知識こそ真理である」と名言を残しています。

日本では「金が貰える知識」を重視しています。こういう国は「将来発展しない」と危機感を強く感じております。ギリシャでは科学者は皆夢を持っていた。これらの夢を実現させようする世相がありました。アメリカではエジソンに子供達は夢を見、元気づけられています。しかし、日本ではそのような気風が残念ながら存在していないのです。

今後、「高齢化社会文化」を造り上げていくには、わが国の優れた技術力を応用、活用しながら国民全体で考えていく必要があります

(完)

講師 プロフィール  
大正 15 年 7 月 20 日生  
しずおか健康長寿財団 理事長  
学歴 東北大学医学部卒 (昭 25)  
東北大学大学院特別研修生終了 (昭 29)  
職歴 東京大学医学部助教授 (昭 32)  
東北大学医学部教授 (昭 43)  
東京大学医学部教授 (昭 52)  
静岡県立大学教授兼学部長 (昭 62)  
静岡県立大学学長 (平 5~11)  
称号 医学博士

東京大学名誉教授  
東北大学名誉教授  
静岡県立大学名誉教授

専攻分野 生理学 (腎臓、心臓、消化器)  
一次健康科学、老年学

受賞 紫綬褒章 (平 5)  
勲二等瑞宝章 (平 11) 外多数

著書 臨床生理学 [南山堂] 外多数  
(時間一杯、力強く、かつ、ユーモア溢れるご講演でした。

会員一同、時には頷き、時には爆笑しながら拝聴致しました。

示唆に富むご講演ですが、紙面の都合上、『抄』とさせていただきます 文責<CODE NUM=0232>高尾)

## 部会活動

### 1. お知らせ

「安全衛生研究会」

第 4 回協会内研究会「安全衛生」のお知らせ  
拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。事業計画の中で承認されています「部門別研究会活動」の内、本年度最初の「安全衛生」研究会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。 敬 具

記

日 時：2002 年 6 月 29 日 (土)

9：30～11：30

会 場：静岡労政会館  
(静岡県勤労者総合会館内)  
静岡市黒金町 5-1  
TEL054-221-6280

研修内容：職場におけるリスクアセスメントを様々な角度から考え普及・貢献することを研究課題とします。

内 容：3 部構成で行います。

1 部；研究会員は定期的な現場見学を行い安全衛生管理の実態を異業種の立場から指摘しあう場を持ち報告会と意見交換を行います。

2 部；労働安全コンサルタントとして活躍されている玉木 重典先生を囲み先生の日頃の体験談、心構えと今後の安全衛生管理のあり方などについてご意見を頂戴します。

3 部；質疑応答と今後の予定について話し合います。定期的な研究会の総括は今のところ年に一度ですが会員からの意見を踏まえ安全衛生に関わる各種の工場、建設現場さらには農業、林業、水産現場への出張研修を実施します。

事務局から：

研究会は会員有志により運営していますのでご賛同され出席される方は事務局会員へご連絡下さい。

連絡先：山之上 誠

メール yamanoue@par.odn.ne.jp

tel/fax 054-246-6881

関係者への 6/29 研究会詳細連絡は後日行いますのでご了承願います。

### 2. 「安全衛生」研究会活動報告

日 時：平成 14 年 5 月 15 日

10：00～12：30

研修場所：協同組合焼津水産加工センター

参加人数：8 名

研修内容：6/29 の「安全衛生」研究会の開催を視野に入れた現場での研修会が石川正人会員のご尽力により行われました。山田事務局長から当工場の概要を紹介していただき無公害化と資源の高度利用を目的としたリサイクルシステムの取り組みについても説明を聞きました。

本題のかつお加工場と完成した残滓処理システムそして排水処理場の説明をしていただいた後の意見交換会では作業環境 (照度など)、作業通路、フォークリフト運転、刃物の扱いなどの安全面と CO2、酸欠対策など環境衛生面への話題が活発にされ所定の時間が少々不足気味でした。

最後に、今後のため安全衛生を視野に入れ機械化をめざし「ゼロエミッション」の目標にたゆまなく前進努力される工場の発展を祈ると共にそこに働かれる従業員全員の無事故無災害を祈念して報告を終えさせていただきます。

追 記：研究会では現場での研修を重要視しています。7 月後半をめどに富士市の製紙スラッジ処分場の見学会を企画しております。会員各位のご参加をお待ちしております。以上

(文責-山之上 誠)

## 会員の消息

新規に入会された方々を紹介します  
(敬称は省略させていただきます)

新規入会 氏名  
生年月日  
技術部門(登録番号)  
最終学歴  
勤務先

市川 武(いちかわ たけし)

建設部門(46745)

滝口測量設計

五味 道隆(ごみ みちたか)

電気・電子部門(47857)

五味技術士事務所

後日、新規入会者の名簿(写真入り)を作成いたします。

なお、会員の中で住所等、変更のある方は、専務理事・吉澤 淳宛お知らせ下さい。

(FAX.054-247-3123)

### 会費の納入のお願い

2002年度から会計担当常任理事が変更しました。「会費の納入」は下記へお願い申し上げます。

振込口座：静岡銀行 清水中央支店

普通 0718595

静岡県技術士協会常任理事(会計担当)

藤田 協右(0543-64-1148)

### 連絡事項

1.技術士継続教育(CPD)への取組の一つとして、

## 静岡県技術士協会内部連絡先のご案内

2002年、2003年度の役員は中部が担当することになりました。

事務局は建設コンサルタントセンター様のご厚意により、従来通り同社内とさせていただくことになりました。

協会内部の連絡は下記の役員(会長、副会長、専務、常任理事)にして下さるようお願い致します。

役名	氏名	連絡先	電話	FAX	E-Mail
会長	守屋文二	守屋技術士事務所	054-281-4078	054-281-4078	
副会長	木村芳正	(株)建設コンサルタントセンター	0545-64-6665	0545-64-3690	yo-kimura@kenkon.jp
副会長	神立 信	神立技術士事務所	053-436-3496	053-438-8170	kandatsu@pop16.odn.ne.jp
専務理事	吉澤 淳	東洋コーティング(株)	054-246-6804	054-247-3123	atsu-yosizawa@toyocoating.co.jp
常任理事	藤田協右	清水建設(株)	0543-64-1148	0543-64-1148	
常任理事	森 稔夫	森技術士事務所	0547-37-2389	0547-37-2389	
常任理事	山之上誠	住友建設(株)	054-246-6881	054-246-6881	yamanoue@par.odn.ne.jp
常任理事	高尾和宏	(株)技研測量	054-237-5871	054-238-7531	

今年度の例会を「東部例会」[中部例会]、「西部例会」とし、各例会毎、出席者に参加証明書を発行する予定です。

この証明書により、点数がカウントされ、一定の点数に達すれば、技術士継続教育(CPD)と認定されます。(必要時間：1年間50時間、3年間150時間)

2.「東部例会」は7月中旬の予定です。

日時、場所等は後日お知らせします。

多数の会員諸氏の出席を期待しています。

3.「中部例会」は9月中旬、[西部例会]は15年2月下旬頃を予定にしています。

4.技術士継続教育(CPD)については、未だ、多くの会員諸氏には「耳馴れない言葉」ではないかと思えます。

技術士に対して、不断の研修が要請される時代を迎えるようになりました。したがって、各自の計画での自己研鑽を必要とし、これらの研修が「継続教育」として評価を受けることとなります。

技術士継続教育(CPD)の概要について次号から掲載し、会員諸氏にお知らせする予定です。

ご要望等は役員にお申出下さい。

お気付きの点もお知らせ下さい。

### 編集後書

今号は「総会特集号」として、総会資料を掲載し、総会に出席できなかった会員諸氏に議案等をお知らせしました。

会員諸氏からの積極的なご意見、投稿を期待しております。身近なニュースもお寄せ頂ければ幸いです。

不慣れな私たちですが、ご指導、ご支援を頂戴して紙面をより充実して参りたいものと考えております。よろしくお願い申し上げます。

(文責 高尾)